令和８年 11 月 16 日

伊勢湾貧酸素情報（第６報）

三重県水産研究所　鈴鹿水産研究室

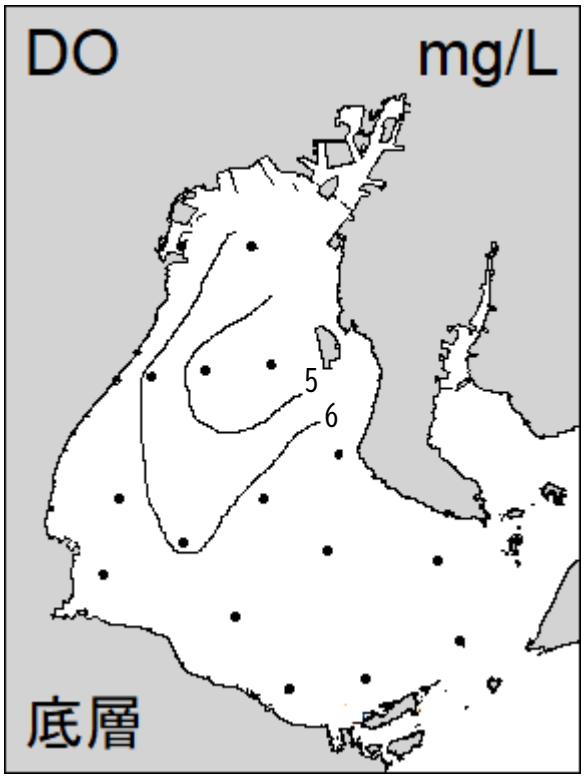
これまで伊勢湾の底層に形成されていた２mg/L以下の貧酸素水塊は消滅しました。

１１月１３日の調査結果

11 月 13 日の漁業調査船「あさま」の浅海定線観測によると、水温は表層で 18.2～19.8℃、10m で 18.5～20.0℃、底層で 18.5～21.3℃の範囲にあり、表層、10m、底層ともに平年並となっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 6.7～7.6 mg/L、10m で 5.1～7.0 mg/L、底層で 4.5～6.9 mg/L の範囲にあり、平年と比べて表層はやや低め、10m 及び底層は平年並となっていました。

今回の観測では、貧酸素水塊は消滅しており、上下層の海水の混合も進んでいたことから、今期の貧酸素水塊の発生は終息したものとみられます。



底層貧酸素水塊分布図